Purpose Book

『つなぐ』力で
農業・地域の
輪を『ひろげる』

Agrigional Coordinator

アグリージョナルコーディネーター



KENSHINREN
静岡県信連

Introduction

はじめに

私たちを取り巻く地域社会は、人口減少や高齢化、
暮らし方の変化など、大きな転換点を迎えています。
農業を取り巻く環境も、担い手不足や気候変動、技術革新など、前例のない課題に直面しています。
金融サービスも多様化し、従来のやり方だけでは農業や地域の期待に応え続けることが難しくなっています。
こうした時代だからこそ、私たちは「なぜ存在するのか」
「何のために活動するのか」を改めて明確にすることが重要です。
そして、その問いに対する答えが、私たちの**「パーパス（存在意義・志）」**です。
このパーパスブックは、私たちの根幹となる考え方を明文化し、
共に歩む仲間に伝え、共感していただくためのものです。
なぜこの道を選ぶのか。どんな未来を目指すのか。農業と地域の持続的な発展に向けて何をすべきか。
私たちが示すこれらの考えが、前に進もうとするあなたの指針となることを願っています。

Motivation

なぜパーパスが必要なのか

なぜパーパスが必要とされるのか、4つのポイントで考えてみます。

❶ 霧の中の航海 ―VUCA※の時代

今、世界は霧に包まれています。気候変動、技術革新、パンデミック、戦争・・・。昨日の常識が、今日には通用しなくなっています。そんな時代に、私たちは改めて問い直す必要があります。「私たちは、なぜこの仕事をしているのか?」それは単に利益のためだけではありません。私たちが進むべき方向を示す羅針盤――それがパーパスです。

※VUCA（ブーカ）…Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を取った造語。「将来を予測するのが困難な時代」を表す。

❷ 社会とつながる ―SDGsとESGの波

「私たちの組織は、社会にどんな貢献をしているのだろう?」環境、教育、地域との共生――企業はもはや“経済の歯車”ではなく、“社会の一員”としての責任を問われています。私たちのパーパスは、社会課題に向き合う決意表明です。SDGsやESGは、ただの外圧ではなく、私たちが選ぶべき未来への約束なのです。

❸ 共感の時代 ―若い世代のまなざし

今やフレッシュ層は、給与や安定だけで会社を選びません。“何のために働くのか”を重視します。彼らは、企業のパーパスに共鳴し、仲間になってくれます。私たちがパーパスを語るのは、彼らに、あなたに、響く言葉を届けるため。そして、ともに未来を創るためです。

❹ 理念の再起動 ―行動の源泉として

理念や行動規範は、とかく額縁の中の言葉になってしまいがちです。しかし、パーパスは違います。現場で使える言葉であり、意志決定の軸であり、職員一人ひとりの行動の源泉です。まるで朝の一杯のコーヒーのように、日々の業務に染み込むものです。私たちは、理念を再起動します。パーパスという名のエネルギーで。

私たちのパーパスが、業務遂行におけるすべての判断の起点になります。
迷ったとき、立ち止まったとき、思い出してください。あなたの業務は、誰かの人生を動かしています。

Concept

パーパスの位置づけ

パーパスは静岡県信連の最上位に位置する概念であり、
経営体系のあらゆる階層に紐付くことで、
皆さんの業務活動に結びついています。
組織の未来を示すビジョンも、成長のための事業戦略も、
日々の業務における意志決定も、
すべてはパーパスを起点として生まれます。
だからこそ、私たちは常にこのパーパスを意識し、
日々の業務に向き合う必要があります。
パーパスを最上位概念とすることで、
職員一人ひとりが静岡県信連の未来を
創る存在となり、社会に対して
価値を提供していくことができるのです。



アグリージョナルコーディネーター

Agrigional Coordinator

「つなぐ」力で農業・地域の輪を「ひろげる」

Agrigional Coordinator として向き合っていく重要な課題
（ステークホルダーが抱える課題）

❶農業・地域社会の活性化　❷JA事業の成長・発展
❸環境保全への貢献　❹企業価値向上

重要課題の解決に向けて中長期的に目指す姿

Vision2030～食と農を未来へ～

中長期的な目指す姿に向けて、
何を実践していくかを示した具体策・計画

静岡県信連グループ
中期経営計画（2025～2027年度）

Our Purpose

私たちのパーパス（存在意義・志）

アグリージョナルコーディネーター

Agrigional Coordinator

「つなぐ」力で農業・地域の輪を「ひろげる」

私たちは、食と農を「まもり」、
地域社会と環境に「よりそい」、
皆さまの輪を「つなぎ・ひろげる」ことで、
農業・地域の成長・発展に
なくてはならない存在であり続けます。

ま も る

「食」と「農」は、人と食物、そして地球をつなぐ“生命の架け橋”です。私たちの暮らしと未来を支える、かけがえのない存在でもあります。私たちは、食農リーディングバンクとして、金融仲介機能を通じて、静岡が誇る食と農の未来につながる「付加価値」を共に創り出していきます。

よ り そ う

私たちは、JAをはじめとするステークホルダーの皆さまと連携し、農業・地域社会と自然環境によりそいながら、課題解決に資するソリューションを提供することで、持続可能な成長と発展を支えていきます。

つ な ぐ・ひ ろ げ る

私たちは、「人と地域をつなぐ架け橋」として、人と人、地域と地域を結び、新たな絆を育みます。JAとともにその輪を広げ、社会全体のつながりを深めることで、地域の活力を引き出し、価値創造につながる共創の輪を築いていきます。

パーパスは、掲げるだけでなく、明日からの行動のきっかけとなる言葉です。
そのためには、パーパスを自分の仕事や日常の行動に置き換えて考える“自分ごと化”が欠かせません。